

船舶事故等調査報告書

平成21年1月8日

運輸安全委員会(海事専門部会)議決

事故等番号	2008函第10号	
事故等名	油送船おおあみ衝突(棧橋)	
発生年月日時刻	平成20年7月3日08時30分	
発生場所	釧路港東区ホクレン釧路油槽所棧橋(南新ふ頭南側ドルフィン)	
事故等調査の経過	調査の概要:平成20年10月20日 函館・地方事故調査官が、海難報告書を精査、21日船長から着棧時の操船方法等についての照会に対する回答書 原因関係者からの意見聴取:意見なし	
認定した事実		
船種・船名・総トン数	油送船おおあみ 999トン	
船舶番号(IMO 番号)	140481	
船舶所有者等	株式会社ブリジストン汽船	
船種・船名・総トン数		
船舶番号(IMO 番号)		
船舶所有者等		
乗組員等に関する情報	船長 二級海技士(航海)	
負傷者	なし	
損傷	右舷後部ハンドレール及びその支柱に曲損、折損	
事故等の経過	<p>おおあみは、平成20年7月2日16時30分 A 重油2,200KL を積載して北海道苫小牧港を発し翌3日08時30分、船首4.22m船尾5.12mの喫水をもって釧路港東区ホクレン釧路油槽所棧橋に出船右舷付け着棧中、船体が横置き配置の棧橋フェンダー下部に入り込んだため同棧橋に直付け状態となり、同棧橋フェンダーと右舷後部のハンドレールが接触し、同ハンドレール及びその支柱に曲損、折損を生じた。</p> <p>事故当時の釧路港はほぼ低潮時であった。</p>	
事実を認定した理由	気象・海象の関与 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 判明した事項の解析	なし あり なし 着棧時の前後位置については平素と同様であったと考えられる 釧路港は低潮時であった
原因	本件棧橋衝突は、潮候、自船の喫水等を十分考慮しないまま着棧操船が行われた可能性があると考えられる。	